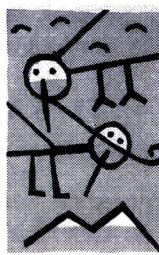


2004/07

## ミニ大通 だより

### 一瞬の夏

札幌に珍しく、蒸し暑い日が続いた週のこと。店の入り口に、小さい影が映りました。時々、一家でお茶を飲みに来てくれる幼稚園の女の子です。散歩の途中、ガラス戸越しにのぞいてくれました。白い木綿のノースリーブに、ギンガムチェックのスカートがつながったワンピース。元気に手を振った後、小さい麦わら帽子はどこまでも走つに行きました。



ガラスについた小さな手形と鼻の頭のあと。さつきまでそこについた幼い輝きは一瞬にして遠ざかり、抜け殻だけが残りました。夏は、あつという間に通り過ぎていきます。

北欧に旅したとき、カーメの群れる港は朝市で賑わい、いつも沈まぬ太陽のもと、公園には静かに散歩する人影があちらこちらにあります。短い夏だからこそ、ゆっくりと生活時間が流れているようでした。

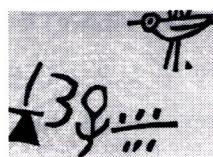
ミニ大通をゆつたり歩くと、駆け抜けの夏が少し立ち止まる、かもしれません。

2004/08

## ミニ大通 だより

### 数える生活

今月はオリンピックです。スポーツで競われるタイムは、コンマ00秒。チツという瞬間、切り裂かれる空気の中に選手は生きています。同じスポーツでも、学生時代の運動部では、もう少しのんびりカウントしていました。「はい、ウサギ跳びグラウンド一周ね。そのあと、うでたて三十回と腹筋三分！」1、2、3、4、5…ハアハアぜえぜえ、ハアせ、せんぱい、だいける！」ぐへえ…



ミニ大通をたまに通過していくジョギング姿の人たち。やつぱり頭の中で1、2、1、2と刻んでいるのがな。その勇姿を横目に、厨房で包丁を持ち、キユウリ、とんとんとんとん5、6、7、8…キヤベツ、バスバス3、4、5と。9とか13で終わるそなときは、最後の一片を無理やり二つに切つたりして。もはやスポーツとはほど遠い生活。しかしながら数えてしまうのは、あの先輩の指導のお陰でしょうか。

2004/09

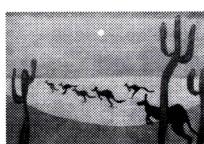
## ミニ大通 だより

### ころもがえ

湿りかけの花火、一把だけ残ったそらめんの束、一度だけ着たレースの上着、咲き終わった花苗。夏を散らかしたまま、季節は移ろつていきます。

「札幌の人はね、いつも背中に雪しそてるんだよね。」不思議に思えた友達のことばも、今では納得。今年の初雪はいつだろう。そんなことがもう気になり始めました。

夜気がすっかり冷たくなる前に月光浴はどうでしょう。朝から衣替えをして、簾をカーテンに替えて、団扇を出します。そして、夕方にはサンダル履きで三



二大通を散歩して、暑がつた今年の夏にサラバ。日に日に早まる日没に背中を押されるように、月は空の上へと昇つてきます。

家に帰って、ビールは飲まずに、お猪口で一杯。ほろ酔いになつたらぐらんタに出て、秋の月に挨拶です。「寒さ、お手やわらかにね」。

月と、一対一で向き合ふ、秋の一日目です。

2004/10

## ミニ大通 だより

### ポトラック

残暑が続いたこの秋、朝顔がつい最近までボリポソリ咲き続けました。実はこれ、変わり朝顔。お客様からタネをもらいました。ほかにも自家製チャーシューと農場でとれたアスパラ、京都みやげのちりめん山椒をどうぞ、じゃあミカン一個あげる、高知のだつてよ。味付け海苔一缶と地蔵商店の蒸しパン。わ、ありがとうございます！



二大通を歩いて、暑がつた今年の夏にサラバ。日に日に早まる日没に背中を押されるように、月は空の上へと昇つてきます。が往つたり来たり。思いがけない品物の到来に心弾みます。さかのぼれば小学校の教室。紙石鹼を一枚ずつ取り換えっこして二コ二コ、大事な鉛筆を気前よくあげてしまつてガックリ。そうそう、遠足のお弁当も楽しい交換の場。私のいつもの出品は、三色細巻寿司と、その中身を小さく切つて楊枝にさした三色串。一見、手の込んだ、実はちょっと手抜きの母の定番お弁当。行楽の秋。ミニ大通りに一人一品のお弁当をもぢよつて楽しむ、ポトラック・パーティーで盛り上がりつてみたいなあ。

2004/11

## ミニ大通 だより

### 思い出せない

たしかゆうべ、夢を見ました。大きな茶色い犬を連れてマダムが来店。私は、その犬の黒くぬれた瞳をのぞき込むうち、意識がもうろうとして。もともと夢だから、もうろうも何もないわけだけれど。えらく短い夢。その前か後にも、何か見たのに。何だったかなあ。漫るなきもちで窓の外を眺めていると、小学生の男の子がふたり、スキップして通り過ぎました。時々走り出しても、また手をつけないでスキップ。ランダムに弾む小さな肩の上方にはミニ大通の木々。今年はちよつとすき間が目立つけれど、夕焼けに染まる様子は、やっぱり美しい。ん？待てよ。台風にやられる前はどうな形だつたつけ。ところで、私が最後にスキップをした場所はどうこだつた？何がそんなに嬉しかつたんだろう。こんなに思い出せないことばかり。私の記憶は、あの夢の犬に食べられているのでしょうか、きっと。

